

1. 3分でわかる（F X 的）アメリカ大統領選挙の解説

① （民主党） 対 （共和党） の構図である。

	民主党	共和党
2016	ヒラリー・クリントン	ドナルド・トランプ
2012	バラク・オバマ	ミット・ロムニー
2008	バラク・オバマ	ジョン・マケイン
2004	ジョン・ケリー	ジョージ・W・ブッシュ
2000	アル・ゴア	ジョージ・W・ブッシュ
1996	ビル・クリントン	ボブ・ドール
1992	ビル・クリントン	ジョージ・H・W・ブッシュ
1988	マイケル・デュカキス	ジョージ・H・W・ブッシュ
1984	ウォルター・モンデール	ロナルド・レーガン
1980	ジミー・カーター	ロナルド・レーガン

1. 3分でわかる（F X 的）アメリカ大統領選挙の解説

② ドル円の変動（月足チャート）

4年の任期で考えると、政党によって特徴があるとはいえない。
しかし、過去4回とも円安（ドル高）に触れた後円高（ドル安）という特徴がある。



1. 3分でわかる（F X的）アメリカ大統領選挙の解説

③ 民主党・共和党という政党よりも【政策】がドル円に影響する

トランプ ^o	政策	クリントン
円安批判	為替	円安誘導批判
アメリカファースト TPP 強く反対	外交/貿易	TPP 条件付き反対
駐留経費全額負担	日米同盟	同盟重視
法人減税 所得減税	税制	富裕層増税
オバマケア撤廃	財政	オバマケア修正
不法移民強制送還 国境警備を強化（メキシコとの壁） 銃規制強化反対	その他	不法移民合法化 銃規制強化

2. アメリカ大統領選挙の押さえるべきポイント

得票数で勝っても大統領にはなれない！？

選挙のしくみ。「勝者総取り方式」とは！？

票は州ごとに集計され、得票数 1 位の候補者がその州の勝者となります。州の勝者になると、州ごとにあらかじめ割り当てられた選挙人をすべて獲得します。これを「勝者総取り方式」といいます。

選挙人は全部で538人。過半数は270人となります。

**(例) ハワイ州…選挙人4人
ニューヨーク州…選挙人29人
テキサス州…選挙人38人
カリフォルニア州…選挙人**55人****

2. アメリカ大統領選挙の押さえるべきポイント

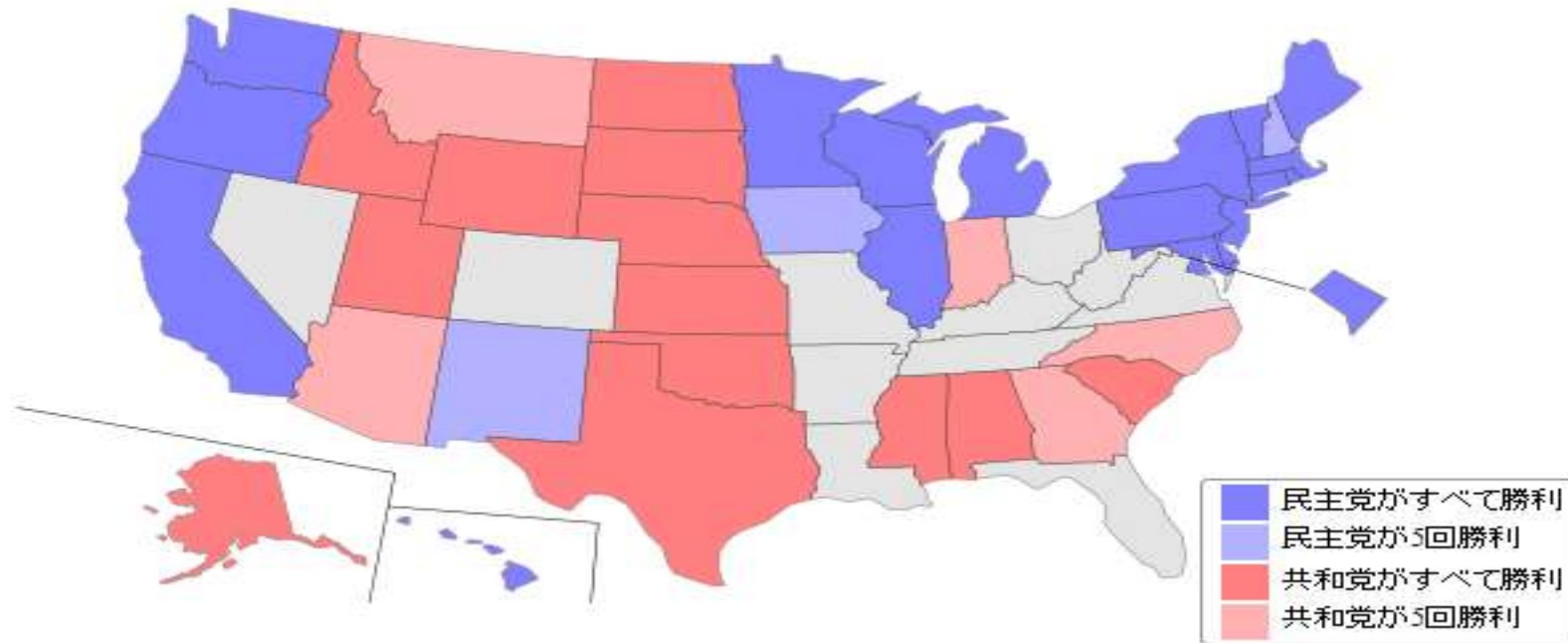
選挙人の多い州を抑えることが大事！



2. アメリカ大統領選挙の押さえるべきポイント

【傾向と対策】

州によって傾向がある。中立の州を抑えることが大事。
2000年選挙（ブッシュ対ゴア）はフロリダ州を制したブッシュが
僅差で大統領となる大混戦となった。



大統領選 Road to 270! メール問題前10/27

トランプ						接戦		クリントン					
126						150		262					
強		中		弱				弱		中		強	
49		41		36		150		77		70		115	
アラバマ	9	テネシー	11	インディアナ	11	テキサス	38	ペンシルバニア	20	イリノイ	20	カリフォルニア	55
ケンタッキー	8	ルイジアナ	8	ミズーリ	10	フロリダ	29	バージニア	13	ミシガン	16	ニューヨーク	29
オクラホマ	7	ミシシッピ	6	サウスカロライナ	9	オハイオ	18	ウィスコンシン	10	ニュージャージー	14	マサチューセッツ	11
アーカンソー	6	カンザス	6	ユタ	6	ジョージア	16	コロラド	9	ワシントン	12	メリーランド	10
ウェストバージニア	5	モンタナ	3			ノースカロライナ	15	オレゴン	7	ロードアイランド	4	ハワイ	4
アイダホ	4	サウスダコタ	3			アリゾナ	11	コネティカット	7	デラウェア	3	ワシントンDC	3
ネブラスカ(4/5)	4	アラスカ	3			ミネソタ	10	ニューメキシコ	5	メイン(1/4)	1	バーモント	3
ノースダコタ	3	ネブラスカ(1/5)	1			ネバダ	6	ニューハンプシャー	4				
ワイオミング	3					アイオワ	6	メイン(2/4)	2				
						メイン(1/4)	1						

メイン・ネブラスカは全体の勝者が上院定員(2名)を獲得、残りを下院の選挙区の中で勝者獲得

世論調査で15ポイント 超の差がある場合を強、10ポイント 超の差がある場合を中、5ポイント 超の差がある場合を弱とした

大統領選 Road to 270! メール問題後 11/01

164						115		259					
強		中		弱				弱		中		強	
49		41		74		115		90		54		115	
アラバマ	9	テネシー	11	テキサス	38	フロリダ	29	ペンシルバニア	20	イリノイ	20	カリフォルニア	55
ケンタッキー	8	ルイジアナ	8	インディアナ	11	オハイオ	18	ミシガン	16	ニュージャージー	14	ニューヨーク	29
オクラホマ	7	ミシシッピ	6	ミズーリ	10	ジョージア	16	バージニア	13	ワシントン	12	マサチューセッツ	11
アーカンソー	6	カンザス	6	サウスカロライナ	9	ノースカロライナ	15	ウィスコンシン	10	ロードアイランド	4	メリーランド	10
ウェストバージニア	5	モンタナ	3	ユタ	6	アリゾナ	11	ミネソタ	10	デラウェア	3	ハワイ	4
アイダホ	4	サウスダコタ	3			コロラド	9	オレゴン	7	メイン(1/4)	1	ワシントンDC	3
ネブラスカ(4/5)	4	アラスカ	3			ネバダ	6	コネティカット	7			バーモント	3
ノースダコタ	3	ネブラスカ(1/5)	1			アイオワ	6	ニューメキシコ	5				
ワイオミング	3					ニューハンプシャー	4	メイン(2/4)	2				
						メイン(1/4)	1						

メイン・ネブラスカは全体の勝者が上院定員(2名)を獲得、残りを下院の選挙区の中で勝者獲得

世論調査で15ポイント超の差がある場合を強、10ポイント超の差がある場合を中、5ポイント超の差がある場合を弱とした

大統領選 Road to 270! 11月7日

トランプ						接戦		クリントン					
164						158		216					
強		中		弱				弱		中		強	
63		92		9		158		48		53		115	
アラバマ	9	テキサス	38	サウスカロライナ	9	フロリダ	29	バージニア	13	イリノイ	20	カリフォルニア	55
ケンタッキー	8	インディアナ	11			ペンシルバニア	20	ウィスコンシン	10	ニュージャージー	14	ニューヨーク	29
ルイジアナ	8	テネシー	11			オハイオ	18	ミネソタ	10	ワシントン	12	マサチューセッツ	11
オクラホマ	7	ミズーリ	10			ミシガン	16	オレゴン	7	ロードアイランド	4	メリーランド	10
ミシシッピ	6	ユタ	6			ジョージア	16	コネティカット	7	デラウェア	3	ハワイ	4
アーカンソー	6	カンザス	6			ノースカロライナ	15	メイン(1/4)	1			ワシントンDC	3
ウェストバージニア	5	モンタナ	3			アリゾナ	11					バーモント	3
アイダホ	4	サウスダコタ	3			コロラド	9						
ネブラスカ(4/5)	4	アラスカ	3			アイオワ	6						
ノースダコタ	3	ネブラスカ(1/5)	1			ネバダ	6						
ワイオミング	3					ニューメキシコ	5						
						ニューハンプシャー	4						
						メイン(3/4)	3						

メイン・ネブラスカは全体の勝者が上院定員(2名)を獲得、残りを下院の選挙区の中で勝者獲得

世論調査で15ポイント 超の差がある場合を強、10ポイント 超の差がある場合を中、5ポイント 超の差がある場合を弱とした

大統領選 Road to 270! 投票直前

トランプ						接戦		クリントン					
164						171		203					
強		中		弱				弱		中		強	
63		92		9		171		35		53		115	
アラバマ	9	テキサス	38	サウスカロライナ	9	フロリダ	29	ウィスコンシン	10	イリノイ	20	カリフォルニア	55
ケンタッキー	8	インディアナ	11			ペンシルバニア	20	ミネソタ	10	ニュージャージー	14	ニューヨーク	29
ルイジアナ	8	テネシー	11			オハイオ	18	オレゴン	7	ワシントン	12	マサチューセッツ	11
オクラホマ	7	ミズーリ	10			ミシガン	16	コネティカット	7	ロードアイランド	4	メリーランド	10
ミシシッピ	6	ユタ	6			ジョージア	16	メイン(1/4)	1	デラウェア	3	ハワイ	4
アーカンソー	6	カンザス	6			ノースカロライナ	15					ワシントンDC	3
ウェストバージニア	5	モンタナ	3			バージニア	13					バーモント	3
アイダホ	4	サウスダコタ	3			アリゾナ	11						
ネブラスカ(4/5)	4	アラスカ	3			コロラド	9						
ノースダコタ	3	ネブラスカ(1/5)	1			アイオワ	6						
ワイオミング	3					ネバダ	6						
						ニューメキシコ	5						
						ニューハンプシャー	4						
						メイン(3/4)	3						
266						支持率通りに決定した場合		272					

メイン・ネブラスカは全体の勝者が上院定員(2名)を獲得、残りを下院の選挙区の中で勝者獲得

世論調査で15ポイント 超の差がある場合を強、10ポイント 超の差がある場合を中、5ポイント 超の差がある場合を弱とした

中立州 171名を総チェック

		トランプ	クリントン	差	前回	前々回
フロリダ	29	46.6	46.4	0.2	民主党	民主党
ペンシルバニア	20	44.3	46.2	1.9	民主党	民主党
オハイオ	18	45.8	42.3	3.5	民主党	民主党
ミシガン	16	42.0	45.4	3.4	民主党	民主党
ジョージア	16	49.2	44.4	4.8	共和党	共和党
ノースカロライナ	15	46.5	45.5	1.0	共和党	民主党
バージニア	13	42.3	47.3	5.0	共和党	共和党
アリゾナ	11	46.3	42.3	4.0	共和党	共和党
コロラド	9	40.4	43.3	2.9	民主党	民主党
アイオワ	6	44.3	41.3	3.0	民主党	民主党
ネバダ	6	45.8	45.0	0.8	民主党	民主党
ニューメキシコ	5	40.3	45.3	5.0	民主党	民主党
ニューハンプシャー	4	42.7	43.3	0.6	民主党	民主党
メイン(2/4)	2	39.5	44.0	4.5	民主党	民主党
メイン(1/4)	1	41.5	41.0	0.5	民主党	民主党

トランプ VS クリントン 政策比較

円安批判	為替	円安誘導批判
アメリカファースト TPP 強く反対	外交/貿易	TPP 条件付き 反対
駐留経費全額負担	日米同盟	同盟重視
法人減税 所得減税	税制	富裕層増税
オバマケア撤廃	財政	オバマケア修正
不法移民強制送還 国境警備を強化(メキシコとの壁) 銃規制強化反対	その他	不法移民合法化 銃規制強化

上下両院 選挙状況 直前

上院	議員定数 100 改選 34 共和党 24 民主党 10	非改選 66 共和党 30 民主党 36
----	------------------------------	----------------------

共和党			接戦	民主党		
54				46		
46				46		
30			非改選	36		
強	中	弱	中立	弱	中	強
12	3	1	8	1	1	8
51			支持率通りに決定した場合	49		

下院	議員定数 435	すべて改選									
----	----------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

共和党			接戦	民主党		
247			空席 2	186		
224			21	190		
強	中	弱	中立	弱	中	強
190	24	8	21	7	13	169
241			支持率通りに決定した場合	194		

上下両院 選挙状況 11/7

上院	議員定数 100 改選 34 共和党 24 民主党 10			非改選 66 共和党 30 民主党 36		
共和党			接戦	民主党		
54				46		
46				46		
30			非改選	36		
強	中	弱	中立	弱	中	強
11	4	1	8	1	1	8

下院	議員定数 435			すべて改選											
共和党							接戦		民主党						
247							空席 2		186						
224							21		190						
強		中		弱			中立		弱		中			強	
190		24		8			21		7		13			169	

上院 選挙状況 メール問題前後

メール問題前(10/27)

上院	議員定数 100 改選 34 共和党 24 民主党 10			非改選 66 共和党 30 民主党 36		
共和党			接戦	民主党		
54				46		
46				47		
30			非改選	36		
強	中	弱	中立	弱	中	強
11	5	0	7	2	1	8

メール問題後(11/01)

上院	議員定数 100 改選 34 共和党 24 民主党 10			非改選 66 共和党 30 民主党 36		
共和党			接戦	民主党		
54				46		
47				47		
30			非改選	36		
強	中	弱	中立	弱	中	強
10	6	1	6	1	2	8

中立州をチェック！ 上院選挙

	現行	現職	共和党	民主党	差
インディアナ	共和党		42.7	42.0	0.7
ペンシルバニア	共和党	○	43.0	45.0	2.0
ネバダ	民主党		45.5	47.3	1.8
ノースカロライナ	共和党	○	47.0	45.0	2.0
ニューハンプシャー	共和党	○	47.1	45.6	1.5
ミズーリ	共和党	○	46.8	45.3	1.5
フロリダ	共和党	○	48.6	45.4	3.2
ウィスコンシン	共和党	○	44.3	47.0	2.7

事前見込みと一致した場合 51 VS 49 共和党が多数派

新財務長官に要注意！

- ・ クリントン候補が勝利した場合、新財務長官の最有力候補

ラエル・ブレイナード FRB理事

(ビル)クリントン政権で大統領副補佐官

オバマ政権で2010年から13年まで財務次官(国際担当)

2014年6月からFRB理事

夫はカート・キャンベル前国務次官補

超ハト派として知られる

クリントン候補メール問題

- かなり楽勝ムードだったクリントン候補に対して
FBIがメール問題での再調査を28日に発表。
29日には令状も発令され、一気に混沌に。
- ・ 国務長官時代に、
公務中に私用アカウントでメールを送ったというもの

メール問題の何がいけないのか？

- 国務長官（日本でいう外務大臣ポスト）からの公務でのメールは、政府文書としての意味を持つ。文書の所有権は米国市民にあるとされ、期間をおいて、将来的に公開される原則
- 私用アカウントの利用によって、将来的にも非公開される情報交換が行われたのではという疑惑
- 現在は13年委国立公文書館（NARA）が指針を整備、14年に連邦法で公務員の公務上で私用アカウントの利用を禁じている（政府アカウントにメールをコピーするなど、例外規定はある）。
- クリントン候補が国務長官を務めていた09-13年は指針発表前（それまでの指針は記録を確実に保存することのみ）

なぜ再調査されることになったか

- ウェイナー元下院議員 民主党のホープといわれ、NY市長の最有力候補とされながら、わいせつ画像を複数の女性に送ったことがわかり、政界を追われた人物

わいせつ画像を未成年女性に送った疑いで(ようは児童ポルノ関連)捜査され、PCが押収された

元議員の妻(アベディン氏)は、クリントン候補が国務長官時代の補佐官で側近中の側近

PCはアベディン氏も利用、クリントン氏とのメールの履歴が大量に残っていた

問題のポイントは

- 削除済みがわかっているメール

クリントン候補はすべて私的なものと説明

もし、機密事項に関するものがあると、隠ぺい工作をしたということになる。この場合、大統領についていたとしても辞任するレベルの問題になる。

(ニクソン大統領のウォーターゲート事件と同じ扱い)

ウォーターゲート事件

ニクソン大統領が、**任期中に辞任した**一連の事件。
副大統領ジェラルド・R・フォードが昇格し、大統領となる。
合衆国大統領選挙に勝利して選出されたことのない、唯一のアメリカ合衆国大統領である。

ヒラリー・クリントンがメール問題で辞任すると・・・
副大統領補ティム・ケイン氏が昇格して大統領になる。

ティム・ケイン氏とは、バージニア州選出の上院議員
これまでの同州知事、民主党全国委員長などを歴任
スペイン語に堪能でヒスパニック系に強い

もし、副大統領が昇格した場合
→議会との対立が深まる可能性高い、
大統領VS議会の構図で 積極的な政策を打ちにくくなる

為替市場の反応は→基本的にはドル売り 政策次第で巻き返しも

大統領選 通貨毎の影響一覧

ユーロ		
トランプ	ユーロ	クリントン
↑ ↑	EURUSD	↓
↓	EURJPY	↑

トランプ大統領誕生でどうなる？

ユーロ自体の反応は買い
ドルの代替通貨としての投資資金の逃避先
対円ではリスク回避が優勢か

大統領選 通貨毎の影響一覧

ボンド		
トランプ	ボンド	クリントン
↑	GBPUSD	↓
↓ ↓	GBPJPY	↑
トランプ大統領誕生でどうなる？		
ドル安の影響で対ドルでは買い ブレグジット懸念の影響で上値は重くなる可能性 対円でのリスク警戒局面では売られやすさが影響も		

大統領選 通貨毎の影響一覧

豪ドル		
トランプ	豪ドル	クリントン
↓	AUDUSD	—
↓↓↓	AUDJPY	↑

トランプ大統領誕生でどうなる？

リスク警戒感拡大で値を落とす可能性
中国の貿易リスクがマイナスに寄与

大統領選 通貨毎の影響一覧

NZドル		
トランプ	NZドル	クリントン
↓	NZDUSD	—
↓↓↓	NZDJPY	↑
トランプ大統領誕生でどうなる？		
リスク警戒感拡大で値を落とす可能性 中国の貿易リスクがマイナスに寄与		

大統領選 通貨毎の影響一覧

カナダ		
トランプ	カナダ	クリントン
↓	USDCAD	↑
↓	CADJPY	↑
トランプ大統領誕生でどうなる？		
両国関係に注目 リスク警戒感残る		

＜リスク開示＞

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものではありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

＜注意喚起＞

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生可能性があります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562